

平成 2 4 年 度  
事 業 報 告 書

事業年度 自 平成 2 4 年 4 月 1 日  
(第 3 期) 至 平成 2 5 年 3 月 3 1 日

公益社団法人日本パブリックゴルフ協会  
東京都中央区銀座一丁目 1 9 番 1 6 号

(A 0 0 1 8 9 1)

## 平成24年度事業報告書目次

■ 協会の概要	
I. 当法人の現況に関する事項	1
II. 役員等に関する事項	7
III. 会計監査人に関する事項	8
IV. 業務の適正を確保するための体制等の整備についての決議 の内容の概要	8
V. その他の重要事項	8
■ 公益目的事業1. ゴルフ競技会開催事業	
I. 概況	10
II. 開催競技及び競技参加者数	10
III. 平成24年度競技の改善点	11
IV. 競技開催実績	12
■ 公益目的事業2. ゴルフ普及振興事業	
I. 調査・研究事業	20
II. セミナー・研修事業	20
III. 交流・協力事業	21
IV. 機関紙発行事業	21
V. その他のゴルフ普及振興事業	22
■ その他の事業1. 収益事業 ハンディキャップ普及振興事業	
I. ハンディキャップ普及振興事業	23
II. JGAコースレート査定事業	24
■ その他の事業2. 助成金事業	24
■ むすび	24

## 事業報告書の附属明細書目次

■ 役員以外の法人等の業務執行理事との重要な兼職の状況	25
■ その他の記載事項	25

## 監事の監査報告事項

■ 監事の監査報告事項	27
-------------	----

## ■協会の概要

### I.当法人の現況に関する事項

#### 1.事業の経過及びその成果

単位:千円・%

事業別	予算額	決算額	達成率
事業費			
公益目的事業	166,351	153,766	92.4
その他の事業	38,591	30,923	80.1
法人会計	15,146	16,286	107.5
合計	220,088	200,976	91.3
経常増減額			
公益目的事業	▲21,366	▲13,920	65.2
その他の事業	20,759	10,695	51.5
法人会計	654	▲300	—
合計	47	▲3,526	—

(注)1.その他の事業(定款第5条):ハンディキャップ普及振興事業並びに助成金事業

#### 2.資金調達等の状況

- (1)資金調達 :なし  
(2)設備投資 :なし

#### 3.直前2事業年度の財産及び損益の状況

単位:千円

区分	平成22年度 実績	平成23年度 実績	平成24年度 (当該事業年度)
経常増減の部	▲4,630	5,638	▲3,526
評価損益等調整前 当期経常増減額	▲4,630	5,638	▲3,526
経常外増減の部	▲7,384	▲2,506	▲7,433
正味財産増減額	▲12,014	3,132	10,958
正味財産期末残高	35,809	38,941	27,983

(注)1.公益社団法人の認可は平成22年3月。従って、直前2事業年度を記載した。

- 2.経常外増減の部 平成22年度:公益社団法人移行費用並びに創立50周年史製作費  
平成23年度及び平成24年度:創立50周年史製作費

#### (損益の状況について)

近年の損益の状況は、競技参加者数の減少傾向を要因として、経常増減の部は赤字の状況にある。平成23年度は、東日本大震災の影響による競技参加料収入の大幅減収を考慮して、経常収益・経常費用とも大幅に圧縮予算とした。結果的には、競技参加料収入の減収幅は予算対比で好転したため、経常増減の部は黒字を達成した。平成24年度は、更に競技参加者数が減少し、競技参加料収入は大幅予算未達となり、再び経常増減の部は赤字となった。

経常外増減の部は、公益社団法人(平成22年3月認可)移行、並びに創立50周年(平成24年5月)に伴う、50周年史「PGS50年のあゆみ」の製作費である。

#### 4. 主要な事業内容

事業	主要な内容
公益目的事業(定款第4条) <b>【公益目的事業 1】</b> ゴルフ競技会開催事業	国民の健康の保持増進、余暇活動の充実、青少年の健全な育成等豊かな国民生活の実現への寄与を目的とし、アマチュアゴルファーによるゴルフ競技会を開催して、生涯スポーツのゴルフの普及振興を図る事業 (事業の内容) ・ゴルフの普及振興、ゴルフ競技会の開催、並びに技術向上の機会提供事業
公益目的事業(定款第4条) <b>【公益目的事業 2】</b> ゴルフ普及振興事業	国民の健康の保持増進、余暇活動の充実、青少年の健全な育成等豊かな国民生活の実現への寄与を目的とし、ゴルフに関するセミナー・研修、交流・協力、調査・研究事業を行い、生涯スポーツであるゴルフの普及振興を図る事業 (事業の内容) ・ゴルフに関する調査・研究、及びセミナー・研修会開催事業 ・ゴルフ界諸団体との交流・連携を通じてのゴルフ普及振興事業 ・ゴルフの普及振興のため機関紙、及び学術図書の発行事業
その他の事業(定款第5条) <b>【収益事業】</b> ハンディキャップ普及振興事業	アマチュアゴルファーがゴルフを楽しむための前提となる、公平な統一ハンディキャップの普及振興、及びその前提となるコースレート査定事業 (事業の内容) ・公平な統一ハンディキャップの普及振興事業 ・コースレート査定事業
その他の事業(定款第5条) <b>【助成金事業】</b>	ジュニアゴルファーの育成を目的に活動する、ゴルフ界2団体に対する助成金事業 (事業の内容) ・ゴルフ界2団体に対する助成金事業 (注)平成23年度、及び24年度は収支の悪化のため休止した。

#### 5. 事業体系

事業	実施事業
<b>【公益目的事業 1】</b> ゴルフ競技会開催事業	I. スクラッチ競技
	1. 全日本パブリックアマチュアゴルフ選手権競技
	2. 全日本女子パブリックアマチュアゴルフ選手権競技
	3. 全日本シニアパブリックアマチュアゴルフ選手権競技
	4. 全日本女子シニアパブリックアマチュアゴルフ選手権競技
	5. 全日本ミッドシニアパブリックアマチュアゴルフ選手権競技
	6. 全日本パブリックミッドアマチュアゴルフ選手権競技
	II. アンダーハンディ競技
	1. アンダーハンディ競技(予選) (1)PGSスポンサー杯 (2)PGSハンディ杯
	2. アンダーハンディ競技(決勝) (1)ダンロップ杯 (2)ブリヂストン杯 (3)グランドマンズリー
3. PGSドリーム・エイジゴルフ大会	
4. PGS西日本月例杯	

	5. PGS中部日本地区月例杯(みんなであきうき旅ゴルフ)
	6. PGS東日本クラブ対抗戦
【公益目的事業 2】 ゴルフ普及振興事業	1. 調査・研究事業
	2. セミナー・研修事業
	3. 交流・協力事業
	4. 機関紙発行事業
	5. その他のゴルフ普及振興事業
【その他の事業 1】 収益事業 ハンディキャップ普及振興事業	1. 公平な統一ハンディキャップの普及振興事業
	2. コースレート査定事業
【その他の事業 2】 助成金事業	1. 業界2団体に対する助成金事業 (平成23年度以降休止中)

#### 6. 主たる事務所の状況

名称	所在地
公益社団法人日本パブリック ゴルフ協会事務局	東京都中央区銀座1-19-16 銀座昭和ビル2階B室

#### 7. 主要な借入先及び借入額

借入先	借入額	償還期限等
なし		

#### 8. 重要な契約に関する事項

契約年月日	契約先	契約金額
平成24年9月11日	株式会社ウェイ企画事務所	1. アンケート電子入力費 @30円 2. 1以外の費用 1,190,000円
契約期限	契約の概要	
平成25年2月1日	ゴルファーの動態調査業務委託契約 (平成24年度調査・研究事業:ゴルファーの動態調査)	

#### 9. 会員に関する事項

##### (1) 会員数

単位: 団体

種類	前年度末	当年度末	増減
正会員	83	81	▲ 2
賛助会員	6	8	2
合計	89	89	0

##### (2) 地区別正会員数

単位: 団体

東日本地区	中部日本地区	西日本地区	北海道・青森地区	合計
30	11	36	4	81

##### (3) 入退会の状況

単位: 団体

	区分	会員数	会員名
入会	正会員	1	オールドオーチャードゴルフクラブ(東日本地区)
	賛助会員	2	株式会社レオパレス21、Phoenix Japan 株式会社

退会	正会員	3	うぐいすの森ゴルフクラブ & ホテル馬頭(東日本地区) 宜野座カントリークラブ(西日本地区) 津軽高原ゴルフ場(北海道・青森地区)
----	-----	---	---

(4) 会員数の推移

単位: 団体

年度	正会員			賛助会員		
	入会	退会	会員数	入会	退会	会員数
平成22年度	2	3	89	0	0	6
平成23年度	0	6	83	0	0	6
平成24年度	1	3	81	2	0	8

(5) 正会員の変動

① 運営会社変更

会員名	新運営会社	旧運営会社
前橋ゴルフ場	株式会社フレッセイ	群馬県企業局
セントレジャーゴルフクラブ市原	PGMプロパティーズ株式会社	株式会社セントレジャー・マネージメント
小杉カントリークラブ	株式会社小杉カントリークラブ	一般社団法人麻布プリンシパル

② 会員名変更

新会員名	旧会員名
ムーンレイクゴルフクラブ市原コース	セントレジャーゴルフクラブ市原

10. 職員に関する事項

平成25年3月31日現在

職名等	氏名	就任年月日	担当事務	備考
事務局次長	中村 知則	平成21年4月 1日	競技担当	常勤
係長	久保 拓二	平成20年4月 1日	競技担当	常勤
一般事務	村松 洋子	平成17年3月14日	競技担当	育児休暇中
一般事務	小路美智代	平成20年5月 1日	総務・経理・人事担当	常勤
一般事務	小山内美枝	平成21年2月24日	総務・経理・人事担当	常勤

11. 役員会等に関する事項

(1) 平成24年度通常社員総会

通常社員総会	開催日	開催場所
	平成24年6月11日	八重洲富士屋ホテル
(議事事項)		
決議事項 第1号議案 役員改選(案)承認の件		
第2号議案 平成23年度事業報告書(案)承認の件		
第3号議案 平成23年度財務諸表及び附属明細書並びに財産目録(案)承認の件		
報告事項 第1号議案 平成24年度事業計画書報告の件		
第2号議案 平成24年度正味財産増減予算報告の件		

(2) 平成24年度第1回臨時社員総会

臨時社員総会	開催日	開催場所
	平成24年10月18日	西神戸ゴルフ場 会議室
(議事事項)		

決議事項 第1号議案 理事1名選任の件
---------------------

(3) 平成24年度第2回臨時社員総会

臨時社員総会	開催日	開催場所
	平成25年 3月14日	姫路キャッスルグランヴィリオホテル
(議事事項)		
決議事項 第1号議案 理事1名選任の件		

(4) 理事会

	開催日	開催場所
第1回	平成24年 6月11日	八重洲富士屋ホテル
第2回	平成24年 6月11日	八重洲富士屋ホテル
第3回	平成24年 9月13日	ANAクラウンプラザホテル神戸
第4回	平成24年11月 8日	ホテル レオパレス名古屋
第5回	平成25年 3月14日	姫路キャッスルホテル

(5) 全国運営委員会

	開催日	開催場所
第1回	平成24年 8月24日	メルパルク名古屋
第2回	平成25年 2月16日	東京ビッグサイト

(6) 財務委員会

	開催日	開催場所
第1回	平成25年 2月22日	協会事務局

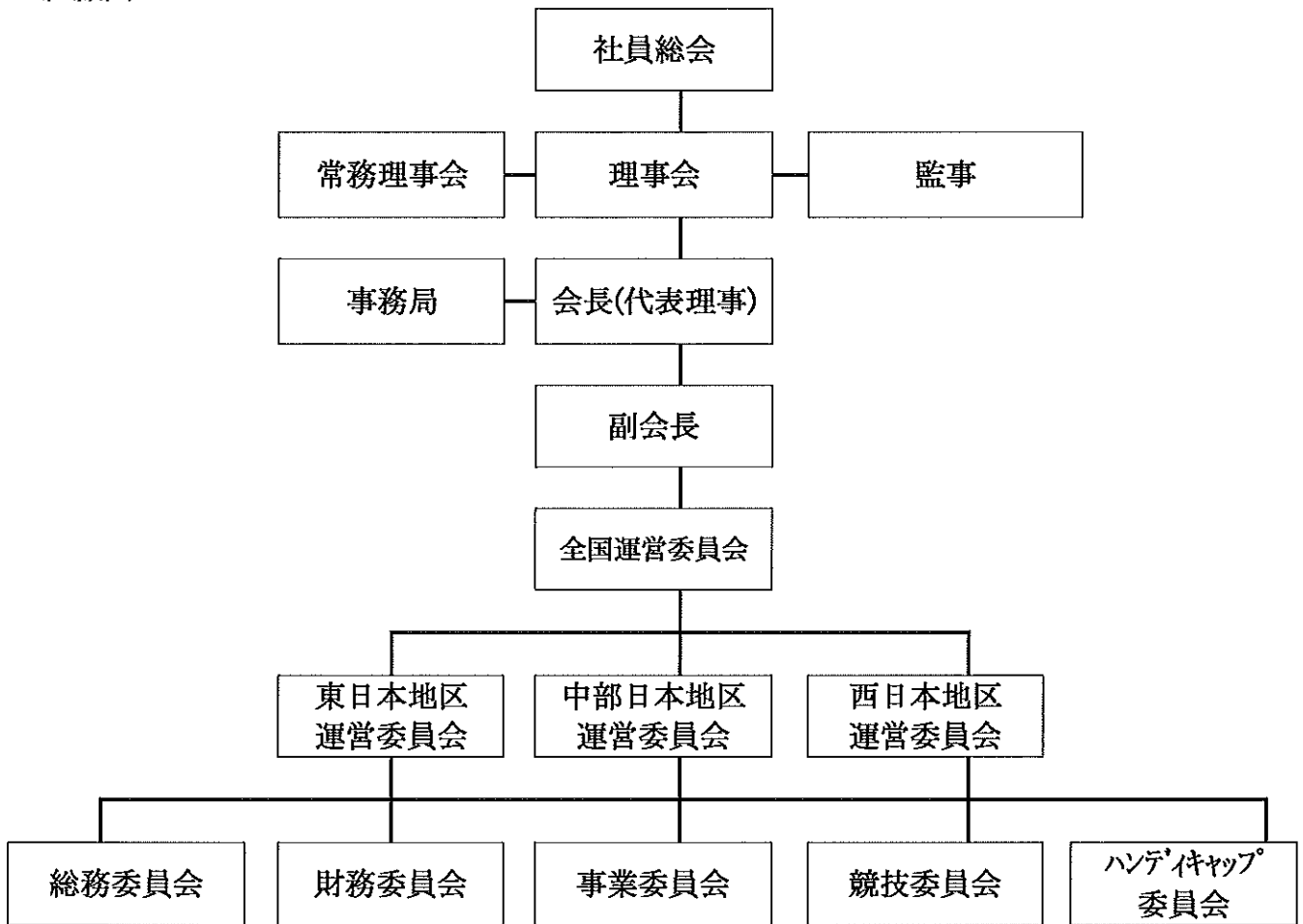
(7) スポンサー会議

	開催日	開催場所
第1回	平成24年10月18日	西神戸ゴルフ場

(8) 監事会

	開催日	実施場所・内容
第1回	平成24年 6月 4日	協会事務局 平成23年度決算報告書の監査他

## 12.組織図



## 13.許可、認可、承認等に関する事項

申請年月日	申請事項	許可等年月日	備考
なし			

## 14.株式の保有状況

なし

## 15.対処すべき課題

### (1)競技参加者数の拡大

競技参加者数は、平成19年度をピークとして以降は減少傾向にある。平成24年度の競技参加者数は、スクラッチ競技15,527名、アンダーハンディ競技18,582名、合計34,109名であり、前年度対比で1,442名減少(4.1%減)した。

継続的な競技参加者数の減少基調は、収支並びに財政状況の悪化を招来し、協会事業の安定的運営上懸念が生じるので、競技参加者数の拡大は喫緊の課題である。公益法人認可を機に、平成23年度通常社員総会において「今後の事業活動の基本方針」を決議したが、メイン競技であるパブリック選手権を往年の1万人台の参加者数に復活させ、更には2万人、3万人と規模の拡大を目指したい。さらには、今後は国内競技だけに留まることなく、海外に目を向けた事業展開を図りたい。

### (2)JGA/USGA ハンディキャップインデックス取得者の拡大

ゴルフは年齢・性別・技量の異なる者同士でも対等に楽しめるスポーツであるが、それは公平な



統一ハンディキャップが前提であり、全てのゴルファーは自分のゴルフ技量を公式な同一規定に基づくハンディキャップで正しく示す責任がある。当協会のJGA/USGAハンディキャップインデックス取得者は約2万名で、高額なゴルフ会員権の取得を必要とせず、誰でも低廉な登録料で手軽に取得できる点から、多くのアマチュアゴルファーに支持を得ている。

公益法人においては、公益目的事業は基本的には収支トントンが目途となり、収益事業であるハンディキャップ普及振興事業の安定的運営により、協会事業活動の安定性が担保されるので、ハンディキャップ取得者の拡大も、競技参加者数の拡大と同様に喫緊の課題である。

### (3) 正会員・賛助会員の拡大

協会加盟正会員100団体の実現は長年の課題であるが、直近の正会員数の推移は平成21年度の90団体をピークとして、平成24年度末には81団体まで減少した。係る状況を勘案して、平成25年度は正会員勧誘活動を強化・推進する。

## II. 役員等に関する事項

### 1. 理事

平成25年3月31日現在

役職名	氏名	区分	任期	常勤・非常勤	報酬等
会長(代表理事)	三野 哲治	代表理事	平成26年6月	非常勤	無償
副会長 競技委員会委員長	石井 信成	常務理事	平成26年6月	非常勤	無償
副会長 事業委員会委員長	三治 明	常務理事	平成26年6月	非常勤	無償
副会長 ハンディキャップ委員会委員長	西村 潔	常務理事	平成26年6月	非常勤	無償
専務理事	島田 忠次	専務理事	平成26年6月	常勤	有償
総務委員会委員長	三浦 光男	常務理事	平成26年6月	非常勤	無償
財務委員会委員長	笠原 泰夫	常務理事	平成26年6月	非常勤	無償
事業委員会副委員長	林 一郎	常務理事	平成26年6月	非常勤	無償
事業委員会副委員長	加藤 義孝	常務理事	平成26年6月	非常勤	無償
事業委員会副委員長	六車洋二郎	常務理事	平成26年6月	非常勤	無償
競技委員会副委員長	神戸 誠	常務理事	平成26年6月	非常勤	無償
競技委員会副委員長	久保田英示	常務理事	平成26年6月	非常勤	無償
競技委員会副委員長	森 章次	常務理事	平成26年6月	非常勤	無償
ハンディキャップ委員会副委員長	西 治彦	常務理事	平成26年6月	非常勤	無償
ハンディキャップ委員会副委員長	小野 和彦	常務理事	平成26年6月	非常勤	無償
	伊藤 哲夫	理事	平成26年6月	非常勤	無償
	木村 妙子	理事	平成26年6月	非常勤	無償
	久保田誠一	理事	平成26年6月	非常勤	無償
	小林 寛道	理事	平成26年6月	非常勤	無償
	小林 弘実	理事	平成26年6月	非常勤	無償
	中元紘一郎	理事	平成26年6月	非常勤	無償
	平山 伸子	理事	平成26年6月	非常勤	無償
	雪野 智世	理事	平成26年6月	非常勤	無償

以上23名

(注)理事の他の法人等の代表状況等、並びに兼職状況は「事業報告の附属明細書」に記載した。

## 2. 監事

平成25年3月31日現在

	氏名	任期	常勤・非常勤	報酬等
監事	豊原 正嗣	平成26年6月	非常勤	無償
監事	菅野 孝男	平成26年6月	非常勤	無償
監事	大田 英二	平成26年6月	非常勤	無償

以上3名

(注)監事の他の法人等の代表状況等、並びに兼職状況は「事業報告の附属明細書」に記載した。

## 3. 顧問

平成25年3月31日現在

	氏名	任期	常勤・非常勤	報酬等
顧問	石井 幸成	平成26年6月	非常勤	無償
顧問	浅井 光昭	平成26年6月	非常勤	無償
顧問	丸山 信久	平成26年6月	非常勤	無償

以上3名

## 4. 退任した役員等

氏名	退任時の地位	退任日	退任理由
藤下 亘理	理事 (常務理事・総務委員会委員長)	平成24年10月18日	一身上の都合により辞任
齋藤 毅	理事 (常務理事・競技委員会副委員長)	平成25年 3月14日	一身上の都合により辞任

以上2名

## 5. 役員等の報酬等

区分	人数	報酬等の総額	備考
専務理事	1名	非公開(個人情報)	常勤

(注)理事の報酬限度額は、「役員等報酬規程」において年額900万円以内と規定されている。

## Ⅲ. 会計監査人に関する事項

当協会は、会計監査人の設置義務なし

## Ⅳ. 業務の適正を確保するための体制等の整備についての決議の内容の概要

現在、理事会の決議はされていない。

(注)平成25年第1回理事会(平成25年6月10日開催予定)にて決議を予定。

## V. その他の重要事項

### 1. 協会創立50周年

当協会は、平成24年度に創立50周年を迎えた。昭和37年5月に関東地区のパブリック8コースを発起人として「関東パブリックゴルフ協会」を創立し、ゴルフの普及振興、ゴルフ競技会の開催、統一ハンディキャップの普及、並びにゴルフに関する調査・研究等を事業目的に掲げ、国民の健康の保持増進、余暇活動の充実等豊かな国民生活の実現への寄与を目的として、活動してきた。

その後、昭和39年3月には全日本的組織「日本パブリックゴルフ協会」に改組し、また平成6年3月には通商産業省(現:経済産業省)より社団法人の認可を得て、「社団法人日本パブリックゴルフ場事業協会」に改組した。

さらに、平成22年3月には国が所管するスポーツ団体として、第1号の「公益社団法人」の認定を受け、協会名称を「日本パブリックゴルフ協会」に復帰改称した。今後も協会創立の理念・精神

を引き継ぎ、公益目的事業を通じて、民による公益増進への積極的な参画、また社会貢献を果たすべく全力を傾注したいと考えている。

## 2. 創立50周年記念事業

### (1) 創立50周年史「PGS50年のあゆみ」発刊

平成21年度第4回理事会(平成22年3月18日開催)において、記念事業として協会史の製作を決定し、「年史製作委員会(委員長:藤下総務委員長)」を設置した。平成22年度より、本格的に創立50周年史「PGS50年のあゆみ」の製作を進め、平成24年5月に発刊した。

### (2) 創立50周年記念パーティー

創立50周年を記念して、平成24年6月11日開催の平成24年度通常総会後に「創立50周年記念パーティー」(八重洲富士屋ホテル)を開催した。

### (3) 全日本パブリック選手権のTV放映

創立50周年を記念して、平成24年度競技全日本パブリック選手権全日本大会[紫あやめ36(千葉県)]、全日本女子パブリック選手権全日本大会[八千代ゴルフクラブ(千葉県)]の模様をTV放映した。

## 3. 東日本大震災に対する復興支援活動

### (1) ゴルフ業界の復興支援活動

平成23年3月に発生した東日本大震災は、東北地方を中心に大きな被害をもたらした。ゴルフ界の復興支援活動は、平成23年4月に日本ゴルフサミット会議を中心に、他にゴルフ界4団体の参画を得て、日本ゴルフ界合同・震災復興支援チャリティプログラムとして「グリーン・ティ・チャリティ(GTC) ～日本のゴルフが、日本のチカラに～」と銘打った復興支援プログラムがスタートした。義援金総額50億円を目標として、平成25年度まで3ヵ年間に亘る息の長い復興支援活動を展開している。

### (2) 当協会の復興支援活動

東日本大震災直後の平成23年3月17日に、平成22年度第4回理事会を開催し、公益社団法人の立場から、社会貢献活動の一環として東日本大震災の復興支援は責務であるとの決議により、義援金募集活動を開始した。その後、同年4月には前述の通り、日本ゴルフサミット会議を中心としたゴルフ界団体の復興支援活動(GTC)がスタートしたが、当協会の復興支援活動はGTCの一環として位置付け、平成24年度も活動を継続した。

## ■公益目的事業1 ゴルフ競技会開催事業

### I. 概況

当協会はゴルフの普及振興のためにゴルフ競技会開催事業を行っている。競技の参加資格は1.アマチュアゴルファーである、2.ハンディキャップは20.0程度以上の方が望ましいの2点であり、言わばアマチュアゴルファーであれば、誰もが日頃の研鑽の腕試しの場として出場できる、門戸の開かれた競技会である。

平成24年度の競技別参加者数は下表の通り、3大メイン競技のスクラッチ競技「パブリック選手権、シニア選手権、ミッドアマ選手権」は15,527名(前年度比▲489名、▲3.1%)、アンダーハンディ競技は18,582名(同▲953名、▲4.9%)、合計34,109名(同▲1,442名、▲4.1%)の参加を得た。

### II. 開催競技及び競技参加者数

#### 1. 開催競技

開催競技(略称)	
I.スクラッチ競技	
1.第46回 全日本パブリックアマチュアゴルフ選手権競技(パ選)	
2.第12回 全日本女子パブリックアマチュアゴルフ選手権競技(女子パ選)	
3.第18回 全日本シニアパブリックアマチュアゴルフ選手権競技(シニア)	
4.第18回 全日本女子シニアパブリックアマチュアゴルフ選手権競技(女子シニア)	
5.第 9回 全日本ミッドシニアパブリックアマチュアゴルフ選手権競技(ミッドシニア)	
6.第 6回 全日本パブリックミッドアマチュアゴルフ選手権競技(男子ミッドアマ)	
7.第 6回 全日本パブリックミッドアマチュアゴルフ選手権競技(女子ミッドアマ)	
小 計	
II.アンダーハンディ競技	
1.アンダーハンディ競技(予選) (1)PGS スポンサー杯 (2)PGS ハンディ杯	
2.アンダーハンディ競技(決勝) (1)ダンロップ杯 (2)ブリヂストン杯 (3)グランドマンズリー	
3.PGSドリーム・エイジゴルフ大会(予選) (1)個人戦 (2)団体戦	
4.PGSドリーム・エイジゴルフ大会(決勝) 個人戦	
5.PGS西日本月例杯	
6.PGS中部日本月例杯(みんなでうきうき旅ゴルフ)	
7.PGS東日本クラブ対抗戦	

#### 2. 競技参加者数

単位:名

競技			平成22年度	平成23年度	平成24年度	前年度比
I.スクラッチ競技						
パブリック選手権	男女別	男子	7,822	6,313	6,269	▲ 44
		女子	979	762	790	28
		計	8,801	7,075	7,059	▲ 16
	地区別	東日本	4,137	3,050	3,362	312
		中日本	1,615	1,348	1,270	▲ 78
		西日本	2,883	2,583	2,322	▲ 261
		北海道・青森	165	93	102	9
		全日本シード	1	1	3	2
計	8,801	7,075	7,059	▲ 16		

シニア選手権	男女別	男子	1,695	1,631	1,569	▲ 62
		女子	396	382	312	▲ 70
		ミッド	1,008	1,024	960	▲ 64
		計	3,099	3,037	2,841	▲ 196
	地区別	東日本	1,198	1,076	1,004	▲ 72
		中日本	884	876	878	2
		西日本	989	1,083	957	▲ 126
		北海道・青森	25	—	—	—
		全日本シード	3	2	2	0
		計	3,099	3,037	2,841	▲ 196
ミッドアマ選手権	男女別	男子	5,339	5,281	5,070	▲ 211
		女子	637	623	557	▲ 66
		計	5,976	5,904	5,627	▲ 277
	地区別	東日本	2,872	2,782	2,575	▲ 207
		中日本	1,275	1,271	1,269	▲ 2
		西日本	1,752	1,760	1,680	▲ 80
		北海道・青森	75	90	101	11
		全日本シード	2	1	2	1
		計	5,976	5,904	5,627	▲ 277
合計			17,876	16,016	15,527	▲ 489
<b>II. アンダーハンディ競技</b>						
PGSスポンサー杯	ダンロップ杯(含決勝)		3,363	3,381	3,014	▲ 367
PGSハンディ杯 (予選・決勝計)	ブリヂストン杯(含決勝)		2,384	2,070	1,811	▲ 259
	サンレオ杯		643	768	644	▲ 124
	キャロウェイ杯		—	553	954	401
	ハンディ杯(含グランドマンスリー)		1,489	1,053	1,164	111
PGSドリーム・エイジゴルフ大会			637	713	532	▲ 181
PGS西日本月例杯			9,253	10,054	9,594	▲ 460
PGS中部日本月例杯(みんなでうきうき旅ゴルフ)			461	567	476	▲ 91
PGS東日本クラブ対抗戦			392	376	393	17
PGS東日本プロ・アマチャレンジ			28	—	—	—
合計			18,650	19,535	18,582	▲ 953
総計			36,526	35,551	34,109	▲ 1,442

### III. 平成24年度競技の改善点

#### 1. 新規シード権の付与

次の団体から新たにシード権が付与された。

団体	新規シード権の内容
北海道ゴルフ連盟	北海道ミッドアマチュアゴルフ選手権予選 2位～10位
四国ゴルフ連盟	四国ミッドアマチュアゴルフ選手権決勝 1位
日本ゴルフツアー機構	ANAオープンゴルフトーナメント主催者推薦選考会 1位 (パブリック選手権北海道・青森地区決勝)
LPGAツアー	中京テレビ・ブリヂストンレディスオープン主催者推薦選考会 1位 (全日本女子パブリック選手権)

## 2.女子シニア選手権表彰人数の変更

女子シニア選手権の表彰人数を、5名から3名に変更した。

## IV.競技開催実績

### 1.参加資格

競技名	参加資格	年齢資格
<b>I.スクラッチ競技</b>		
1.パ選	1.ハンディキャップ20.0程度以上が望ましい 2.日本ゴルフ協会ゴルフ規則に規定されたアマチュアゴルファー 3.高等学校までに在学の生徒は、学校長・保護者等責任者の参加許可証の提出が必要	なし
2.女子パ選		
3.シニア		男子55歳以上
4.女子シニア		女子50歳以上
5.ミッドシニア		男子65歳以上
6.ミッドアマ		男子、女子共30歳以上
<b>II.アンダーハンディ競技</b>		
1.アンダーハンディ競技(予選) (1)PGSスポンサー杯 (2)PGSハンディ杯	PGS会員で JGA/USGA ハンディキャップインデックス、又はPGSハンディキャップ取得者	なし
2.アンダーハンディ競技(決勝) (1)ダンロップ杯 (2)ブリヂストン杯 (3)グランドマンズリー		
3.PGSドリーム・エイジゴルフ大会(予選) (1)個人戦 (2)団体戦		
4.PGSドリーム・エイジゴルフ大会(決勝) 個人戦	なし	男女とも65歳以上
5.PGS西日本月例杯	PGS会員で JGA/USGA ハンディキャップインデックス、又はPGSハンディキャップ取得者 JGA/USGA ハンディキャップインデックス取得を目指すアマチュアゴルファー	なし
6.PGS中部日本月例杯 (みんなでききき旅ゴルフ)		
7.PGS東日本クラブ対抗戦		

(注)PGS会員:JGA/USGA ハンディキャップインデックスの取得を目的とした会員組織で、誰でも会員になれる。

### 2.競技の概要

#### 【スクラッチ競技】

#### [1]平成24年度第46回全日本パブリックアマチュアゴルフ選手権競技

平成24年度全日本パブリックアマチュアゴルフ選手権競技の参加者数は、男子6,269名(前年度比▲44名、▲0.7%)、女子790名(同+28名、+3.7%)、合計7,059名(同▲16名、▲0.2%)であった。

#### ◆競技日程

### 1. 予選

地区	東日本	中部日本	西日本	北海道・青森	合計
予選数	36	14	39	2	91
参加者数(名)	2,937	1,191	2,039	102	6,269

### 2. 地区決勝

地区	開催コース	開催日	参加者数(名)
1.東日本 A	うぐいすの森ゴルフクラブ&ホテル馬頭	5/12(土)-13(日)	167
2.東日本 B	富士見高原ゴルフコース	5/16(水)-17(木)	158
3.東日本 C	市原ゴルフクラブ 柿の木台コース	5/16(水)-17(木)	161
4.中部日本	名古屋港ゴルフ倶楽部(富浜コース)	5/16(水)-17(木)	154
5.西日本 関西	紫香楽国際カントリークラブ	5/16(水)-17(木)	163
6.西日本 中国	マーメイド福山ゴルフクラブ	5/15(火)-16(水)	143
7.西日本 四国	コート・ベール徳島ゴルフクラブ	5/16(水)-17(木)	115
8.西日本 九州	瀬板の森北九州ゴルフコース	5/22(火)-23(水)	149
9.北海道・青森	随縁カントリークラブ 恵庭コース	8/27(月)-28(火)	64
合計			1,274

### 3. 全日本

	開催コース	開催日	参加者数(名)
全日本	紫あやめ36	6/5(火)-6(水)	140

## [2]平成24年度第12回全日本女子パブリックアマチュアゴルフ選手権競技

### ◆競技日程

#### 1. 予選

地区	東日本	中部日本	西日本	合計
予選数	18	1	22	41
参加者数(名)	425	80	285	790

#### 2. 地区決勝

地区	開催コース	開催日	参加者数(名)
1.東日本	三井の森軽井沢カントリー倶楽部	5/13(日)	168
2.中部日本	名古屋港ゴルフ倶楽部(富浜コース)	5/10(木)	64
3.西日本	ダンロップゴルフコース	5/11(金)	168
合計			400

#### 3. 全日本

	開催コース	開催日	参加者数(名)
全日本	八千代ゴルフクラブ	5/30(水)-5/31(木)	149

## [3]平成24年度第18回全日本シニアパブリックアマチュアゴルフ選手権競技

平成24年度全日本シニアパブリックアマチュアゴルフ選手権競技の参加者数は、シニア男子1,569名(前年度比▲62名、▲3.8%)、シニア女子312名(同▲70名、▲18.3%)、ミッドシニア男子960名(同▲64名、▲6.3%)、合計2,841名(同▲196名、▲6.5%)であった。

### ◆競技日程

### 1. 予選

地 区	東日本	中部日本	西日本	合 計
予選数	21	10	26	57
参加者数(名)	579	488	502	1,569

### 2. 地区決勝

地 区	開催コース	開催日	参加者数(名)
1.東日本	下館ゴルフ倶楽部	9/25(火)-26(水)	90
2.中部日本	アリジカントリークラブ花垣コース	9/19(水)-20(木)	89
3.西日本	青野運動公苑アオノゴルフコース	9/20(木)-21(金)	88
合計			267

### 3. 全日本

	開催コース	開催日	参加者数(名)
全日本	西神戸ゴルフ場	10/17(水)-18(木)	72

(注)男子シニア、女子シニア、ミッドシニア :地区決勝、全日本は同日同会場で開催。

## [4]平成24年度第18回全日本女子シニアパブリックアマチュアゴルフ選手権競技

### ◆競技日程

#### 1. 予選

地 区	東日本	中部日本	西日本	合 計
予選数	11	7	11	29
参加者数(名)	131	86	95	312

#### 2. 地区決勝

地 区	開催コース	開催日	参加者数(名)
1.東日本	下館ゴルフ倶楽部	9/25(火)-26(水)	28
2.中部日本	アリジカントリークラブ花垣コース	9/19(水)-20(木)	16
3.西日本	青野運動公苑アオノゴルフコース	9/20(木)-21(金)	27
合計			71

#### 3. 全日本

	開催コース	開催日	参加者数(名)
全日本	西神戸ゴルフ場	10/17(水)-18(木)	22

(注)男子シニア、女子シニア、ミッドシニア :地区決勝、全日本は同日同会場で開催。

## [5]平成24年度第9回全日本ミッドシニアパブリックゴルフ選手権競技

### ◆競技日程

#### 1. 予選

地 区	東日本	中部日本	西日本	合 計
予選数	16	9	21	46
参加者数(名)	295	305	360	960

#### 2. 地区決勝



地区	開催コース	開催日	参加者数(名)
1.東日本	下館ゴルフ倶楽部	9/25(火)-26(水)	54
2.中部日本	アリジカントリークラブ花垣コース	9/19(水)-20(木)	59
3.西日本	青野運動公苑アオノゴルフコース	9/20(木)-21(金)	65
合計			178

### 3. 全日本

	開催コース	開催日	参加者数(名)
全日本	西神戸ゴルフ場	10/17(水)-18(木)	47

(注)男子シニア、女子シニア、ミッドシニア：地区決勝、全日本は同日同会場で開催。

### [6]平成24年度第6回全日本パブリックミッドアマチュアゴルフ選手権競技

最近のパブリック選手権は、ジュニア選手が上位を独占する傾向が顕著であり、アマチュアゴルファーの最も層が厚いミッド世代の競う競技として、平成17年度に西日本パブリックミッドアマ選手権競技がスタートした。また、平成19年度より参加者数も順調に増加し全日本を、平成20年度より地区決勝を立ち上げた。

平成24年度は男子の部5,070名(前年度比▲211名、▲4.0%)、女子の部557名(前年度比▲66名、▲10.6%)、合計5,627名(前年度比▲277名、▲4.7%)と、昨年度に引き続き減少となった。

### ◆競技日程

#### 1.予選

地区	東日本	中部日本	西日本	北海道・青森	合計
予選数(男子)	30	10	34	3	77
予選数(女子)	14	7	16	—	37
合計	44	17	50	3	114
参加者数(男子)(名)	2,323	1,160	1,486	101	5,070
参加者数(女子)(名)	254	109	194	—	557
合計(名)	2,577	1,269	1,680	101	5,627

#### 2.地区決勝

地区	開催コース	開催日	参加者数(名)
1.東日本 A	ウインザーパークゴルフアンドカントリークラブ	7/31(火)-8/1(水)	169
2.東日本 B	鹿島南蓼科ゴルフコース	7/24(月)-25(火)	153
3.中部日本	グランシエロゴルフ倶楽部	7/26(木)-27(金)	167
4.西日本	よみうりゴルフウエストコース	7/26(木)-27(金)	176
5.北海道・青森	ダイナスティゴルフクラブ	7/27(金)	61

#### 3.全日本

	開催コース	開催日	参加者数(名)
全日本	コート・ペール徳島ゴルフクラブ	9/5(水)-6(木)	145

### 【アンダーハンディ競技】

[1]PGSアンダーハンディ競技(予選) (1)PGSスポンサー杯、(2)PGSハンディ杯

[2]PGSアンダーハンディ競技(決勝) (1)ダンロップ杯、(2)プリヂストン杯、(3)グランドマンズリー

平成24年度はPGSスポンサー杯89回、PGSハンディ杯15回、合計104回開催した。JGA・PGS

ハンディキャップ登録者は約2万名で、平成24年度の競技参加者数は、予選は6,448名(前年度比▲115名、▲1.8%)と苦戦した。決勝は1,139名(前年度比▲123名、▲9.7%)と予選同様厳しい状況となった。

◆競技日程

1. 予選

予選数		東日本	中部日本	西日本	合計
PGSスポンサー杯	ダンロップ杯	14(4)	7	19	40(4)
	ブリヂストン杯	8	5	9	22
	サンレオ杯	5(1)	4	3	12(1)
	キャロウェイ杯	6	4	5	15
PGSハンディ杯		7(1)	5	3	15(1)
合計		40(6)	25	39	104(6)

(注)( )は北海道・青森地区の開催数で、東日本の内数

2. 予選参加者数

		東日本	中部日本	西日本	合計(名)
PGSスポンサー杯	ダンロップ杯	851	603	1,171	2,625
	ブリヂストン杯	384	492	631	1,507
	サンレオ杯	220	252	172	644
	キャロウェイ杯	349	341	264	954
PGSハンディ杯		306	309	103	718
合計		2,110	1,997	2,341	6,448

※北海道・青森地区は東日本に含み内数

3. 地区決勝

(1)ダンロップ杯

地区	開催コース	開催日	参加者数(名)
東日本	ラ・ヴィスタ ゴルフリゾート	11/ 5(月)	144
中部日本	名古屋広幡ゴルフコース	10/16(火)	135
西日本	京都大原パブリックコース	11/ 2(金)	110
合計			389

(2)ブリヂストン杯

地区	開催コース	開催日	参加者数(名)
東日本	市原ゴルフクラブ	平成25/3/1(金)	92
中部日本	正眼寺カントリークラブ	10/ 2(火)	148
西日本	大阪パブリックゴルフ場	11/13(火)	64
合計			304

(3)グランドマンズリー

地区	開催コース	開催日	参加者数(名)
東日本	イーストウッドカントリー倶楽部	11/15(木)	126
中部日本	愛知県森林公園ゴルフ場	11/ 2(金)	191
西日本	つるやカントリークラブ西宮北コース	11/30(金)	129

合計	446
----	-----

[3]PGSドリーム・エイジゴルフ大会(予選)

[4]PGSドリーム・エイジゴルフ大会(決勝)

高齢者の健康の保持増進への寄与は当協会の事業目的の一つであり、平成21年度より「PGSドリーム・エイジゴルフ大会」がスタートした。競技は65歳以上のゴルファーを対象とし、当協会独自の「PGSドリーム・エイジハンディキャップ」による18ホール・ストロークプレーで競い、ゴルフと健康を結びつけたユニークな競技である。また、平成23年度より、ゴルフ市場活性化委員会(GMAC)の後援を受けている。

平成24年度は予選23、及び3地区決勝を開催し、参加人数は予選452名、決勝80名、合計532名(前年度比▲181名、▲25.4%)と苦戦した。

◆競技日程

1. 予選

予選開催数	東日本	中部日本	西日本	北海道・青森	合計
個人戦	7	8	6	—	21
団体戦	1	1	—	—	2
合計	8	9	6	—	23

(1)18ホール・ストロークプレー

(2)PGSドリーム・エイジハンディキャップ方式(年齢+歩行数によるハンディキャップ)により順位を決定

2. 参加者数

単位:名

	東日本	中部日本	西日本	北海道・青森	合計
個人戦	149	134	100	—	383
団体戦	45	24	—	—	69
合計	194	158	100	—	452

3. 地区決勝

地区	開催コース	開催日	参加者数(名)
東日本	那須野ヶ原カントリークラブ	10/24(水)	24
中部日本	名古屋港ゴルフ倶楽部(富浜コース)	11/6(火)	25
西日本	琵琶湖レークサイドゴルフコース	10/30(火)	31
合計			80

(1)競技方法 : 予選と同じ

(参考)PGSドリーム・エイジゴルフ大会チャリティ募金寄贈

平成24年度PGSドリーム・エイジゴルフ大会のチャリティ募金額は202,020円となった。参加者の善意は、予選コース最寄の社会福祉団体、および日本赤十字社に寄贈した。

[5]PGS西日本月例杯

PGS西日本月例杯は、アンダーハンディ競技の充実を図るためPGS会員を対象として、平成13年度にスタートした。以前は東日本・中部日本を含め全日本事業であったが、現在は西日本地区のみで開催している。

平成24年度は、開催数156回、参加者数は9,594名で、残念ながら前年度比で減少(▲460名、▲4.6%)した。

(地区別開催数及び参加者数)

	関西地区	中国地区	四国地区	九州地区	合計
開催数	80	46	25	5	156
申込人数(名)	3,684	4,012	1,654	244	9,594

(注)PGS会員:ハンディキャップの取得を目的とした当協会の会員組織で、誰でも会員になれる。

[6]PGS中部日本月例杯(みんなでうきうき旅ゴルフ)

平成21年度より、「PGS中部日本月例杯(みんなでうきうき旅ゴルフ)」がスタートした。ゴルファーは自分のゴルフ技量を、公正な同一規定に基づくハンディキャップで正しく示す責任がある。当協会は、わが国唯一の公認ハンディキャップのJGA/USGAハンディキャップインデックスの普及に努めており、アマチュアゴルファーの証である同ハンディキャップの一層の取得推進を目指した競技会である。

平成24年度は予選10開催、及び決勝を開催し参加者数は予選450名、決勝26名、合計476名。前年度比で▲91名(▲16.0%)であった。

◆予選

(1)開催会場 :中部日本地区会員 :10コース

(2)参加資格 ①アンダーハンディ競技 :PGS会員でJGA/USGAハンディキャップインデックスの取得者

②ダブルペリア競技 :PGS会員、及びJGA/USGAハンディキャップインデックス取得を目指すアマチュアゴルファー

(3)競技方法 ①18ホール・ストロークプレー(アンダーハンディ競技)

②ダブルペリア競技

(4)参加者数

	アンダーハンディ競技		ダブルペリア競技		合計
	男子	女子	男子	女子	
参加人数(名)	243	30	152	25	450

◆決勝

(1)開催日 :平成25年4月24日(水)

(2)開催会場 :セントレジャーゴルフクラブ定光寺

(3)参加資格 :予選通過者、及び特典(多回数参加者)によるシード選手

(4)競技方法 :18ホール・ストロークプレー(アンダーハンディ競技)

(5)参加者数 :男性25名、女子1名、合計26名

[7]PGS東日本クラブ対抗戦

平成21年度より東日本地区の協会競技として新たにスタートした。JGA/USGA ハンディキャップインデックスの普及振興を目的とした東日本加盟会員コースのクラブ対抗戦で、4ブロック(ABCD)でブロック予選を開催し、各ブロックより男女各2チーム、決勝大会開催クラブより男女2チーム、及び前年度優勝クラブ代表の男女2チームを加えた、合計12チームで決勝大会を開催する。平成24年度は、ブロック大会には合計273名、決勝には120名、合計393名が参加した。

◆ブロック予選

(1)参加資格:東日本地区会員コースの何れかでPGS会員登録をし、JGA/USGA ハンディキャップインデックスを取得しているアマチュアゴルファー

(2)競技方法

①18ホールストローク・アンダーハンディ競技(JGA/USGA ハンディキャップインデックス)

②ハンディキャップの下限 :男子部門20.0、女子部門30.0

③順位決定 :男子部門は出場選手の内、上位5名のネットスコア合計による  
女子部門は出場選手の内、上位3名のネットスコア合計による

(3)開催日・会場・出場クラブ

ブロック	出場クラブ	ブロック予選	開催日
Aブロック	那須野ヶ原、イーストウッド、うぐいすの森馬頭、ハーモニーヒルズ、ウインザーパーク、うぐいすの森水戸、下館、オールドオーチャード	うぐいすの森ゴルフクラブ水戸	10月2日
Bブロック	古河、新玉村、前橋、上武、朝霞、妻沼、三井の森	三井の森軽井沢カントリー倶楽部	9月21日
Cブロック	市原、市原・柿の木台、セントレジャー千葉、千葉よみうり、八千代、ムーンレイク市原、ラヴィスタ、紫あやめ36	ラ・ヴィスタ ゴルフリゾート	10月4日
Dブロック	昭和の森、清里、小淵沢、富士見高原、篠ノ井、富士グリーンヒル	富士見高原ゴルフコース	10月2日

(4)ブロック予選代表チーム

各ブロック2クラブ(1クラブ男子部門8名、女子部門5名)

(注)決勝大会開催コース、前年度優勝クラブが上位2クラブに入賞した場合は、繰り下げて出場資格を付与する。

(5)参加者数

ブロック・開催コース	クラブ数	男子	女子	合計
Aブロック (うぐいすの森水戸)	11	60	15	75
Bブロック (三井の森)	10	37	23	60
Cブロック (ラ・ヴィスタ)	14	55	33	88
Dブロック (富士見高原)	8	31	19	50
予選計	43	183	90	273
決勝	19	80	40	120
合計	62	263	130	393

◆決勝大会

(1)開催会場 :下館ゴルフ倶楽部(茨城県)

(2)開催日 :前夜祭 平成24年10月29日(月)／クラブ対抗戦 平成24年10月30日(火)

(3)参加資格 :①PGS 東日本各ブロック予選の男女各上位2クラブ

②決勝大会開催クラブ、及び前年度優勝クラブより各男女2クラブ

(4)チーム編成 :1クラブ 男子部門8名・女子部門5名

(5)競技方法 :ブロック予選と同様

(6)参加者数 :前掲の通り

## ■公益目的事業2 ゴルフ普及振興事業

### I.調査・研究事業

公益社団法人認定を機に、メイン事業のゴルフ普及振興に加えて、ゴルフに関する調査・研究事業の充実を図り、その成果を世の中に広く情報発信する。

平成24年度の調査・研究事業は、下記の通り(外部委託)実施した。

契約年月日	契約先	契約金額
平成24年9月11日	株式会社ウェイ企画事務所	1.アンケート電子入力費 @30円 2.1以外の費用 1,190,000円
契約期限	契約の概要	
平成25年2月1日	ゴルフアーの動態調査業務委託契約 ゴルフ界の需要実態推移、同地域的推移、ゴルフアーのニーズ等に関する調査	

(参考)直前2事業年度の調査・研究実績

年度	調査・研究内容
平成22年度	ゴルフのプレー頻度がゴルフアーの健康や生活に及ぼす影響
平成23年度	中止

### II.セミナー・研修事業

本事業は、ゴルフの普及振興のためにセミナー・研修会を通じて、ゴルフアーの啓蒙に資する、並びに一層質の高い競技会の実現を目指して、競技会の運営・競技委員を対象にゴルフ・ルール、コースセッティング方法等、競技会運営に係わる技術向上を目指した研修会を開催する。

#### 1.平成24年度セミナー事業

創立50周年記念パーティー開催のため中止した。

(参考)直前2事業年度のセミナー開催実績

平成22年度	アンチエイジング・ゴルフという考え方	齋藤 真嗣(ニューヨーク州医師)
平成23年度	未開催	

#### 2.平成24年度研修会事業

グリーンキーパー研修会

日時	平成24年4月3日(火)	テーマ	夏季ベントグリーンの管理について
		講師	正眼寺カントリークラブ 吉田 信次
場所	セントレジャーゴルフクラブ定光寺	テーマ	グリーンの排水改善について
		講師	小杉カントリークラブ 大坪 真範

(参考)直前2事業年度の研修会開催実績

年度	テーマ
平成22年度	ベントグリーン全面張替とコース管理
	2009年度コース管理について
平成23年度	名古屋港ゴルフ倶楽部(富浜コース)のコース管理について
	土壌改善による健康な芝作り

### Ⅲ.交流・協力事業

ゴルフ界を取り巻く環境は厳しいが、ゴルフ市場活性化のためにゴルフ界諸団体は連携・協力して様々な活動を展開する必要がある。この様な観点からゴルフ界諸団体と連携・協力して、ゴルフ市場の活性化に向けた活動を展開する。

#### 1.日本ゴルフサミット会議

##### (1)2013年第1回日本ゴルフサミット会議

日時	平成25年1月11日(金) 10:00～11:20	内容	2013年活動テーマの決定 1)ゴルフ界はグリーン・ティ・チャリティー活動に積極的に取り組む 2)ゴルフ界は環境問題に積極的に取り組む 3)ゴルフ場利用税廃止運動の継続 4)国家公務員倫理規程における「ゴルフ」の削除 5)ゴルフ活性化への取り組み
場所	ANAインターコンチネンタルホテル東京		

##### (2)ゴルフ新年会の開催

日時 平成25年1月11日(金) 11:30～15:00

場所 ANAインターコンチネンタルホテル東京

##### (3)日本ゴルフサミット会議 運営会議参加

#### 2.ゴルフ市場活性化委員会(GMAC)

(1)当協会はゴルフ市場活性化委員会(GMAC)の構成メンバーとして、「はじめよう」「続けよう」「もっとゴルフを」をスローガンにゴルフ業界の活性化に向けた活動をしている。平成23年度より「続けようゴルフを」にマッチする当協会の「PGSドリーム・エイジゴルフ大会」はGMACの後援を受け開催、他のテーマ「はじめようゴルフを」として「スクランブルゴルフの普及」、「もっとゴルフを」として「経済産業大臣杯全国チーム対抗戦」を各団体と連携して活動した。

(2)定例委員会への参加(毎月1回)

(3)ゴルフ市場活性化セミナーへの参画

(4)関西地区ゴルフ市場活性化委員会(関西 GMAC)創設に参画

#### 3.NPO法人日本ジュニアゴルファー育成協議会(JGC)

NPO法人日本ジュニアゴルファー育成協議会は、「ゴルフをツールとした子どもたちの健全育成」を原点に活動をしている。ゴルフ界諸団体は、連携して市場活性化に向けた活動をする必要があるが、同協議会のジュニアゴルファーの育成は青少年の健全な育成に加えゴルフ業界の裾野拡大が期待でき首肯できる。当協会は同協議会の構成メンバーとして、ジュニアゴルファーの育成に連携して活動した。

#### 4.ジャパンゴルフフェア2013の後援・ブース出展

一般社団法人日本ゴルフ用品協会主催の第47回ジャパンゴルフフェア2013は、平成25年2月15日(金)～2月17日(日)の間、東京有明ビッグサイト東京国際展示場において開催されたが、当協会はこれを後援すると共にブースを出展し、当協会の事業活動のPRを実施した。

### Ⅳ.機関紙発行事業

当協会主催競技に関して、競技開催案内、年間競技スケジュール、競技の様式、競技成績等を盛り込んだ機関紙「PGSニュース」を年1回(2月)発行した。従来は新聞形式で発行していたが、本年度より、読者が読みやすい様に冊子形式(A4版/全56ページ)に切り替えた。競技参加者

に対して無償配布しており、「PGSニュース」は既に80号を重ね、我が国のパブリックゴルフ史としても貴重な資料である。

## V.その他のゴルフ普及振興事業

ゴルフ業界の長期的展望は少子高齢化の加速や人口減少から、市場規模は縮小化の方向にあり、引き続き経営環境は厳しいと予想される。この様な状況下、ゴルフ業界は一層連携を強化し、新規ゴルファーの育成、需要創出が喫緊の課題であり、当協会もゴルフ市場の活性化に向けゴルファーの底辺拡大施策等様々な取組みを推進した。

### 1.ジュニアゴルファー育成の取り組み

NPO法人日本ジュニアゴルファー育成協議会(JGC)の活動目的である、ジュニアゴルファーの育成は青少年の健全な育成に資するものであり、ゴルフ界にとっては裾野拡大の観点より重要な課題である。ジュニアゴルファーの育成は、ゴルフ界が連携して取り組む必要があり、当協会は同協議会の構成メンバーとして、ジュニアゴルファーの育成に連携して活動した。

### 2.他団体との協賛・後援事業

- (1)一般社団法人日本ゴルフ用品協会に対し後援 :第47回ジャパンゴルフフェア2013
- (2)NPO法人日本芝草研究開発機構に対し後援 :創立20周年記念事業
- (3)日本ゴルフサミット会議に対し協賛 :2013年ゴルフ新年会
- (4)他団体競技の後援

競技名	主催者
第34回 ALL KANSAI テレビ アマチュアゴルフ選手権	(株)サンテレビジョン
第4回ウッドフレンズレディース アマ・プロゴルフ選手権競技 女子アマチュアの部	森林公園ゴルフ場運営会社(株)
全日本エイジシューターマスタース選手権 アマチュアの部	一般社団法人日本エイジシューター協会
第28回・第29回アオノジュニアゴルフ大会	青野運動公苑アオノゴルフコース
第19回・第20回すきっぷ 21:アオノ親子ゴルフ大会	青野運動公苑アオノゴルフコース
日刊アマゴルフ2012 全日本シングルプレーヤーズゴルフ選手権東日本大会	日刊スポーツ新聞社東京本社
日刊アマゴルフ2012 全日本シングルプレーヤーズゴルフ選手権北海道大会 全日本レディースゴルフ選手権北海道大会	北海道日刊スポーツ新聞社
2012年近畿オープンゴルフ選手権	サンケイスポーツ
アジアジュニア親善ゴルフ大会in沖縄2013	沖縄タイムス社



## ■その他の事業1 収益事業 ハンディキャップ普及振興事業

### I.ハンディキャップ普及振興事業

#### 1.自分のゴルフ技量を正しく示すことはゴルファーの責任

ゴルフは年齢・性別・技量の異なる者同士でも対等に楽しめるスポーツである。それは公平な統一ハンディキャップ(JGA/USGAハンディキャップインデックス:国際ゴルフ・ルールに基づき公益財団法人日本ゴルフ協会が発給)が前提である。ゴルファーは自分のゴルフ技量を公式な同一規定に基づくハンディキャップで正しく示す責任があり、同ハンディキャップインデックスは日本で唯一の公認ハンディキャップであり、当協会はアマチュアゴルファーに対して、ゴルファーの証とも言えるJGA/USGAハンディキャップインデックスの普及振興を推進している。

また、公平な統一ハンディキャップは、競技主催団体にとってはアンダーハンディ競技会の適正、公正な運営の前提条件でもある。当協会のJGA/USGAハンディキャップインデックス取得者は約21,000名で、高額なゴルフ会員権の取得を必要とせず、誰でも低廉な登録料でPGS会員になることにより、手軽に取得できる点から多くのアマチュアゴルファーの支持を得ている。

#### 2.「USGA コースレーティングシステム」、「USGA ハンディキャップシステム」の導入

公益財団法人日本ゴルフ協会(JGA)は、平成24年よりUSGAが開発・所有し、世界の約60カ国と地域で採用されている、「USGA コースレーティングシステム」(通称スロープシステム)、および「USGA ハンディキャップシステム」の導入を決定した。

USGA ハンディキャップシステムの導入に伴い、コースレーティングもこれまでのJGA方式からUSGA方式に変更となり、改めてコース査定を行い算出されたスロープレーティングを、平成24年より順次付与することになった。スロープレーティングの普及により、ゴルファーはこれまで以上に公平なハンディキャップによってゴルフを楽しむことが可能となり、ひいてはプレー回数やゴルフ人口の増加などゴルフの更なる普及に繋がることが期待される。

また、USGAハンディキャップシステムでは、平成26年からハンディキャップ査定スコアカード枚数が、現行の10枚から20枚に変更される。

当協会もJGAの動きに連動して、順次協会加盟会員コースのスロープレーティングの査定を進め、USGAハンディキャップシステムの導入を推進している。

#### 3.ハンディキャップ取得者の推移

単位:名

	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度
JGA ハンディキャップ	20,262	25,451	23,471	24,663
PGS ハンディキャップ	8,138	4,714	2,913	2,413
合計	28,400	30,165	26,384	27,076
	平成22年度	平成23年度	平成24年度	前年度比
JGA ハンディキャップ	24,974	23,371	20,137	▲ 3,234
PGS ハンディキャップ	520	480	656	176
合計	25,494	23,851	20,793	▲ 3,058

#### 4.JGA/USGA ハンディキャップインデックス(J-sys)導入状況

(平成18年4月現在)

(平成25年3月現在)

単位:コース

	東	中部	西	合計		東	中部	西	北・青	合計
JGA HDCP	31	10	21	62	⇒	29	11	35	4	79
PGS HDCP	2	1	21	24		1	0	1	0	2
合計	33	11	42	84		30	11	36	4	81

## II. JGAコースレート査定事業

公平な統一ハンディキャップであるJGA/USGAハンディキャップインデックスの普及振興のためには、その前提としてゴルフ場のコースレーティングが正確に査定されている必要がある。当協会はコースレート査定を管轄する公益財団法人日本ゴルフ協会(JGA)に対してコースレート査定を希望する会員パブリックゴルフ場の依頼に基づき、同協会への申請窓口として機能している。平成24年度は、次の4コースでコースレート査定を実施した。

東日本地区	西日本地区	中部日本・北海道・青森地区
1.鹿島南蓼科ゴルフコース 2.小淵沢カントリークラブ	1.武庫ノ台ゴルフコース	1.小杉カントリークラブ

## ■その他の事業2 助成金事業

本事業はゴルフの普及振興のために、ジュニアゴルファーの育成を目的に活動するゴルフ界2団体に対して、助成金事業を実施するものである。

### 1.NPO法人日本ジュニアゴルファー育成協議会(JGC)

当協議会はゴルフをツールに児童・青少年の健全な育成を目的に活動している。ジュニアゴルファーの育成は青少年の健全育成、並びにゴルファーの底辺拡大の観点から首肯でき、同協議会の活動目的に賛同して助成金事業を実施し活動をバックアップしてきた。

### 2.一般社団法人日本高等学校ゴルフ連盟

当連盟は高等学校教育の一環であるクラブ活動を通じて、心身を鍛え、社会生活を営むに相応しい生徒を育てること、ゴルフ界の健全な発展へ寄与することを目的に活動している。同連盟の活動目的に賛同して助成金事業を実施し活動をバックアップしてきた。

近年の競技参加者数の減少から、協会収支・財政状況が逼迫しており、残念ながら両団体に対する助成金事業は、平成23年度以降を見送っている。

## むすび

### 1.平成24年度事業の回顧と展望

平成24年度競技の概況は前述の通り、スクラッチ競技の参加者数は15,527名(前年度比▲489名、▲3.1%)、アンダーハンディ競技は18,582名(同▲1,116名、▲5.7%)、合計34,109名(同▲1,442名、▲4.1%)と前年度比で減少し、誠に遺憾ながらここ数年の減少傾向に歯止めをかけることができなかった。創立50周年を機に、「今後の事業活動基本方針」に沿った新たな事業分野等を検討した結果の一施策として、今後は国内だけに留まることなく海外に目を向けた事業を展開し、パブリック選手権を往年の1万人台の参加者数に復活させ、更には2、3万人と規模拡大を目指したい。

以上

## 事業報告書の附属明細書

### ■役員その他の法人等の業務執行理事との重要な兼職の状況

平成25年3月31日現在

区分	氏名	兼職先法人等	兼職の内容	関係
理事(代表理事)	三野 哲治	住友ゴム工業株式会社	取締役会長	
理事	石井 信成	社団法人全日本ゴルフ練習場連盟	会長	
		株式会社那須野ヶ原カントリークラブ	代表取締役社長	
理事	三治 明	株式会社三治製作所	代表取締役会長	
		株式会社正眼寺カントリークラブ	代表取締役社長	
理事	西村 潔	株式会社京阪ゴルフ倶楽部	理事長	
理事	三浦 光男	読売ゴルフ株式会社	代表取締役社長	
理事	加藤 義孝	東名ゴルフ株式会社	代表取締役社長	
理事	六車洋二郎	株式会社コート・パール徳島	代表取締役社長	
理事	森 章次	公益社団法人社納税協会	理事	
		株式会社アオノリゾート	代表取締役社長	
理事	伊藤 哲夫	伊藤公認会計士事務所	公認会計士	
監事	菅野 孝男	常和ゴルフマネジメント株式会社	代表取締役	
監事	大田 英二	株式会社チュウブ	代表取締役社長	
監事	豊原 正嗣	豊原会計事務所	公認会計士	

(注)当協会にとって兼職先法人等が重要な法人である、並びに当該役員が兼職先の法人等で重要な職務を担当している場合を記載している。

### ■その他の記載事項

#### 1.定款に定める事業内容について補足すべき重要な事項

定款第5条で「(その他の事業) (2)ゴルフ関係諸団体に対する助成金事業」を定めている。従来、ジュニアゴルファーの育成を目的に活動するゴルフ界2団体[NPO法人日本ジュニア育成協議会(JGC)、並びに一般社団法人日本高等学校ゴルフ連盟]に対して、活動支援の観点から助成金事業を行ってきたが、近年の競技参加者数減少による収支状況悪化から、平成23年度に引き続き平成24年度も助成金を見送った。

#### 2.事業の実施状況について補足すべき重要な事項

定款第4条で「(公益目的事業) (2)ゴルフに関する調査・研究、及びセミナー・研修会の開催事業」を定めている。平成24年度の調査・研究事業、並びに研修会開催は前述の通りであるが、セミナー開催については、創立50周年記念パーティー開催のため休止した。

#### 3.正味財産の増減の状況及び財産の増減の推移について補足すべき重要な事項

正味財産の増減の状況は、直近年度の平成22年度は12,014千円減少、平成23年度は5,448千円増加と推移し、平成24年度は10,958千円減少となった。

経常増減の部は、競技参加者数の大幅減少を要因として、競技参加料収入が予算対比で大幅未達を要因として3,526千円、経常外増減の部は、創立50周年史製作費7,433千円のマイナスとなった。

### ■主たる正味財産額減少の要因

#### (1)経常増減の部

①競技参加料収入の予算未達 ▲4,159 千円

	競技参加料収入 (千円)			参加人数 (名)		
	予算	実績	差異	予算	実績	差異
パ選	42,600	42,354	▲ 246	7,100	7,059	▲ 41
シニア	18,300	17,046	▲1,254	3,050	2,841	▲209
ミッドアマ	35,400	33,762	▲1,638	5,900	5,627	▲273
UH	12,750	11,950	▲ 800	8,050	7,587	▲463
ドリーム	1,800	1,579	▲ 221	720	532	▲188
合計	110,850	106,691	▲4,159	24,820	23,646	▲1,174

(2) 経常外増減の部

創立50年史製作費 7,433千円

4. 重要な固定資産の明細

(1) 特定資産

退職給付引当預金の増減額及びその残高は次の通り。

単位:円

	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
退職給付引当預金	2, 814, 626	1, 050, 600	0	3, 865, 226

(2) その他の固定資産

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は次の通り。

単位:円

	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
競技用備品	3, 150, 000	2, 520, 000	630, 000
ソフトウェア	8, 627, 850	6, 093, 570	2, 534, 280
合計	11, 777, 850	8, 613, 570	3, 164, 280

5. 引当金の明細

(1) 退職給与及び退職給付引当金の残高は次の通り。

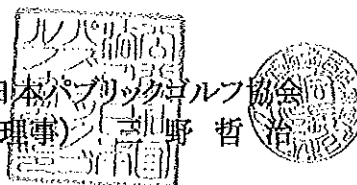
単位:円

	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
退職給与引当金	2, 099, 880	700, 260	0	2, 800, 140
退職給付引当金	714, 746	350, 340	0	1,065, 086
合計	2, 814, 626	1, 050, 600	0	3, 865, 226

退職給付引当金については、別途中小企業退職金事業本部に掛金積立を行っており、平成25年3月31日現在の退職金試算額は2, 861, 520円となっている。

以上

公益社団法人日本パブリックゴルフ協会  
会長(代表理事) 野 哲



## 監事の監査報告事項

私たち監事は、平成24年4月1日から平成25年3月31日までの第3期事業年度の、理事の職務の執行を監査致しました。その方法及び結果につき以下の通り報告致します。

### 1. 監事の監査の方法及びその内容

- 一 監事は、理事会その他重要な会議に出席するほか、理事等からその職務の執行状況に関する報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査致しました。また、当該事業年度に係る事業報告及び関係書類、並びに会計帳簿等、計算書類及び附属明細書につき検討致しました。

### 2. 監査の結果




- (1) 事業報告及びその附属明細書が法令又は定款に従い当該法人の状況を正しく示しているかどうかについての意見
  - 一 事業報告及び及びその附属明細書は、法令及び定款に従い協会の状況を正しく示しているものと認めます。
  - 二 計算書類及びその附属明細書は、法令及び定款に従い協会の財産及び損益の状況を、正しく示しているものと認めます。
- (2) 当該法人の理事の職務の遂行に関し、不正の行為又は法令違反若しくは定款に違反する重大な事実があったときは、その事実
  - 一 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令もしくは定款に違反する重大な事実は認められません。
- (3) 監査のための必要な調査ができなかったときは、その旨及びその理由
  - 一 監査のための必要な調査を実施致しました。
- (4) 内部体制の整備についての決定又は決議(監査の範囲に属さないものを除く。)がある場合において、当該事項の内容が相当でないと認めるときは、その旨及びその理由
  - 一 当協会は、「業務の適正を確保するための体制等」に関する理事会の決定、又は決議はなされておらず指摘すべき事項はありません。

### 3. 監査報告を作成した日

- 一 平成25年5月28日

平成25年5月28日

公益社団法人日本パブリックゴルフ協会

監事	豊原正嗣	
監事	菅野孝男	
監事	大田英二	

(注) 監事 豊原正嗣は外部監事です。